

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業実施状況・内部検証

(単位：円)

番号	所管課等	事業名	事業内容	計画事業費	実績額			事業経費内訳	事業実施による効果	
					執行額	内訳				
						国県補助金等	臨時交付金対象額			一般財源
1	農林商工課	鮫川村地産地消推進事業	コロナ禍における原油価格や物価高騰等により、村内産味噌の販売が停滞している。村内全世帯に味噌引換券を配布することで村内生活者の負担を軽減し、味噌原料等の生産者及び加工者等の事業継続支援、次年度の作付意欲衰退防止を図りながら村内経済の持続的な活性化に取り組む。	608,000	496,440		496,000	440	大豆振興対策事業用味噌(1kg)引換券(報償品) 788件×630円	村内全世帯に味噌引換券を配布することで村内生活者の家計の負担を軽減し、味噌原料等の生産者及び加工者等の事業継続支援、次年度の作付意欲衰退防止を図りながら村内経済の持続的な活性化と農業振興に寄与した。
2	村づくり推進室	庁舎安全・安心確保事業	公共施設の貸出の予約をオンライン化し、可能な限り住民の非接触化を図り新型コロナウイルス予防対策を図るとともに、IT推進により住民サービスの向上を図る。(公民館・農業者トレーニングセンター・村民体育館など)	660,000	660,000		660,000		鮫川村施設予約システム構築業務委託料	村公式ホームページの管理システムを改修し、公共施設の貸出の予約をオンライン化するための環境を構築することができた。
3	住民福祉課	物価高騰対策支援事業	コロナ禍における原油価格・物価高騰による影響を緩和するための対策	1,848,000	1,657,482	626,000	1,031,000	482	物価高騰対策支援事業給付金162世帯×10,000円 事務費37,482円	生活に困窮している世帯へ給付したことにより物価高騰分の影響を緩和することができた。
4	給食センター	学校給食配食時用無菌化手袋購入事業	給食配膳時に児童・生徒に手袋を着用して新型コロナウイルス感染症を予防する。	125,000	158,400		63,000	95,400	無菌化手袋M 20,000個×7.2円×1.1	感染防止用品を購入することで、感染症に対する体制強化ができ、安心して配膳することができた。
5	給食センター	給食用食材費高騰による食材費増額分負担事業	コロナ禍における給食食材高騰による食材費の増額分負担を行い、学校給食の安定した供給を行う。	1,879,000	1,807,054		722,000	1,085,054	給食用食材費高騰分(1食当たり)15.7円×令和4年度食数合計115,099	高騰した給食材料費分を利用者に転嫁することなく、栄養バランスの取れた給食を提供することができた。また、保護者の負担軽減になり、適切な施設の運営管理を継続することができた。
6										
7	教育課	特別支援学級教材購入事業	特別支援学級の生徒が新型コロナウイルス感染症対策により常時マスクを着用していてもコミュニケーションが図れるよう声量コントロール訓練をするため	58,000	57,200		57,000	200	ボイスルーラー通常バージョン14,300円×2個 ボイスルーラー笑顔バージョン14,300円×2個	自分の声の大きさを確認しながら声量コントロールの訓練ができ、状況に応じた声の大きさの調節ができるようになった。
8	教育課	公民館施設用AI検温モニター購入事業	公民館利用者の入館前の体温を測ることで、発熱の症状がある方の利用をお断りし、新型コロナウイルス感染症対策を図るため。	176,000	175,560		175,000	560	AI検温モニター1台購入	公民館来場者の感染対策が徹底され社会教育活動を継続して実施できた。
9	教育課	鮫川村公民館2階トイレ改修工事費	公民館利用者が使用するトイレを蓋つきの洋式トイレにすることで、飛沫拡散を防止し、自動水栓の設置により、接触箇所を減らし新型コロナウイルス感染症対策を図る。	1,452,000	1,298,000		1,298,000		鮫川村公民館2階トイレ改修工事	トイレ内での感染対策の徹底により社会教育活動を継続して実施できた。

番号	所管課等	事業名	事業内容	計画 事業費	実績額			事業経費内訳	事業実施による効果	
					執行額	内 訳				
						国県補 助金等	臨時交付金 対象額			一般財源
10	農林商工課	まめな暮らし 応援商品券事 業（令和3年 度）	コロナ禍における原油価格・物価高騰 対策として地域経済の活性化と住民を 支援する。NO.11・NO.12と同一事業。 （令和3年度予算充当事業）	17,117,000	16,902,000		16,902,000			
11	農林商工課	まめな暮らし 応援商品券事 業（物価高騰 分）	コロナ禍における原油価格・物価高騰 対策として地域経済の活性化と住民を 支援する。NO.10・NO.12と同一事業。 （令和4年度予算充当事業）	23,604,000	23,514,000		23,514,000	住民1人あたり20,000円分（1枚 500円×40枚）の商品券発行 使用（換金）枚数121,870枚× 500円、商工会事務費1,500,000 円	コロナ禍における原油価格、物価高騰 の影響を受けている村内の事業者及び 村民の家計負担を軽減するため、全村 民に商品券を配布し、個人消費拡大と 地域経済の活性化を図ることができ た。	
12	農林商工課	まめな暮らし 応援商品券事 業（重点交付 金分）	コロナ禍における原油価格・物価高騰 対策として地域経済の活性化と住民を 支援する。NO.10・NO.11と同一事業。 （令和4年度重点交付金充当事業）	22,019,000	22,019,000		22,019,000			
13	こどもセンター	保育施設空間 安全・安心確保 事業	幼保連携型認定こども園において新型 コロナウイルス感染防止ため衛生環境 を整備する。	127,000	174,323		174,000	323	ソリュージョンウォーター 4 箱×5,500円×1.1 マスク100 枚入り 28個×460円×1.1 マイクレーン除菌ワイパー 20 個×300円×1.1 泡ハンドソープ 10個×1,230 円×1.1 シャボネットユニ・ム5kg 15個 ×4,770円×1.1 アサヒニトリルグローブブルー M（100入）20個×1,000円×1.1 セハノール78 4L 5個×2,800 円×1.08	衛生環境の整備を行うことにより、園 児のコロナウイルス感染防止に努め た。
14	こどもセンター	幼稚部お遊戯 会備品購入事 業	幼保連携型認定こども園にて当初、合 奏を予定していたがコロナウ イル スの影響で練習時間の確保が困難に なり、短期間で習得することが出来、音 楽の感性を養うことの出来るハンドベ ルの演奏を行うため購入する。	32,000	32,450		32,000	450	ミュージックベルタッチ式 20,900円×1.1 ミュージックベルソフトケース 11,550円×1.1	お遊戯会練習、本番で園児たちはハンド ベルの音に興味を持ち、音楽への興 味、関心、そしてお遊戯会で無事演奏 を成功させた。お遊戯会後は保育の一 環としてハンドベルを使用している。
15	こどもセンター	給食費無償化 事業	幼保連携型認定こども園にて給食費無 償を行っており、コロナウイルスの影 響に伴い、食材が高騰しているため。	381,000	485,519		485,000	519	児童1人当たりの給食材料費高 騰分の申請 保育部1人当たり12,936円×30 人 用地区1人当たり2,165円×45人	事業実施により、園児たちに適切な 量、栄養価で給食（副食）を無償で提 供することができた。
16	教育課	保育施設空間 安全・安心確 保事業	図書館において新型コロナウイルス感 染防止ためAI検温モニターを整備す る。	137,000	176,000		176,000		AI検温モニター 1台購入	図書館内での感染対策により村民の読 書活動が継続できた。
17	農林商工課	配合飼料価格 高騰対策事業	配合飼料価格が高騰しており畜産農家 の経営がひっ迫しているため価格高騰 分の一部を助成する。	26,770,000	25,033,000		25,033,000		鮫川村配合飼料価格高騰対策支 援事業補助金（1t当たり7,000 円）	村内畜産経営体に対して、配合飼料価 格高騰分の一部を助成することによ り、経済的負担を軽減し、今後も畜産 経営を行ううえでの意欲衰退防止及び 畜産振興を図ることができた。
18	農林商工課	げんきな農業 継続支援事業	物価高騰により農家の生産意欲が衰退 しているため、作付水田に対し支援す ることで次年度の営農継続を支援す る。	1,584,000	1,476,000		1,476,000		鮫川村元気な農業継続支援事業 補助金（作付け面積10a当たり 500円）	対象者276名、対象面積32,036aに交 付。営農負担を軽減し、次年度の営農 継続および田園風景の維持に寄与す ることができた。
19	農林商工課	特産畑作物栽 培継続支援事 業	物価高騰による農家の生産意欲衰退を 抑止するため、特産畑作物栽培農地に 対し支援することで特産畑作物の安定 供給と次年度の営農継続を支援する。	311,000	283,700		283,000	700	鮫川村特産畑作物栽培継続支援 事業補助金（作付け面積10a当 たり3,000円）	大豆・エゴマの栽培者61名、面積（大 豆668.3a）（エゴマ283.6a）対して 交付。農業経営の安定と特産畑作物の 栽培振興に寄与することができた。

番号	所管課等	事業名	事業内容	計画 事業費	実績額			事業経費内訳	事業実施による効果	
					執行額	内訳				
						国県補 助金等	臨時交付金 対象額			一般財源
20	農林商工課	大豆収穫作業 支援事業	村特産農作物の大豆栽培農家の高齢化による収穫作業の労力を支援し新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、少人数で作業可能な収穫機を導入し利用希望者に貸し出しすることで特産農作物の安定供給と営農継続を支援する。	580,000	472,164		472,000	164	自走式大豆収穫機1台購入	ビーンハーベスターM1-GM（和同産業株式会社）を購入。一般貸出用機械として、令和5年産大豆の収穫から活用。効率的な収穫作業や高齢者等の労力の軽減に寄与している。
21	教育課	スクールバス児 童生徒感染防 止対策事業	小中一斉下校の際新型コロナウイルス感染防止対策として、車内の密集を防ぐため送迎バスの台数を増やし乗車人数を制限することにより感染リスクを低減している（6台→8台）。	3,559,000	2,563,924		2,563,000	924	新型コロナウイルス感染防止によるスクールバス臨時運行費 2,513,280円 消毒液購入費50,644円	車内での感染症対策が学校閉鎖を防ぐことができた。
22	教育課	学校保健特別 対策事業費補 助金	抗原検査キットの購入により新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、教育活動を安定継続させる。	398,000	392,700	140,000	252,000	700	抗原検査キット（10テスト入り）8,500円×42箱×1.1	感染リスクがある者を早期に発見することにより、感染拡大を未然に防ぎ、学校教育活動を継続することができた。
23	村づくり推進室	感染症対応タ ブレット端末 購入事業	新型コロナウイルス感染症の発生があった場合の職員の拡散に備えた対応や、来客があった場合にスムーズな情報提供などを行うために職員がタブレット端末を用いて庁舎内で自由に対応出来る環境を整備する。	3,201,000	3,201,110	1,600,000	1,600,000	1,110	Surface Pro8 140,000×15台×1.1 Surface Pro8 キーボード 28,890円×15台×1.1 Microsoft Office 39,000円×8式×1.1 WI-FIルーター 9,250円×7台×1.1	来客があった際にタブレットPCを用いて、密集を避けるなど感染対策を行いながら、スムーズな情報提供などを行うことができた。
				106,626,000	103,036,026	2,366,000	99,483,000	1,187,026		